

I. 平成28年度の運営総括及び来期の課題

今年度は開館2年目で、日々の行事や移動児童館を通して「白根南児童館」の存在が徐々に認知され始めている。来館者数は昨年と比較すると年間2778名の増加、一日平均7.8名の増加があった。すべての年代で来館者数の増加がみられた。昨年度と同様に、地域の方々の協力を得ながら運営を行ってきた。『はるまつり』や『あきまつり』では、ボランティアの方々のおかげで多くの方に楽しんでもらうことができた。

1. 乳幼児事業

(1) 総括

毎月、定例行事である『すくすくひろば』、『絵本タイム』、『作って遊ぼう』を企画・運営している。親子のふれあい遊びや身体を動かすこと、絵本読み聞かせ、制作活動などで、子どもの成長を確認できる場となっている。

保育園帰りの幼児の来館や、支援センターでの保護者同士の情報交換による来館、他所で行われた『BP講座』、『NP講座』に参加した母親の来館などがあった。南区だけでなく、広い地域からの来館がみられる。土曜日・日曜日・祝日も開館しているため、日頃支援センターに通う近隣の加茂市、三条市、田上町の方々や、父親や祖父母の来館がある。また、職員による育児相談や母親同士の交流を求めている保護者がいる。職員は子どもを遊ばせながら保護者と会話をし、日頃の育児の悩みなどの傾聴に努めている。また、友達を求める母親への仲立ち役としての役割を果たしている。

保護者向けの行事として、『子育てオーエンジャー☆みなみ』との連携による『わくわくひろば』や『ママタイム』を開催した。ハンドトリートメントや簡単な手芸でリラックスできる時間を楽しんでもらった。近隣に住んでいる母親が自家製のハーブティーを持参し、好評であった。

移動児童館に出向いた地域の保育園からは、バスを利用した保育園児の来館があり、相互の交流を図ることができている。

(2) 課題

保護者に児童館という場を知ってもらうため、地域の検診に顔を出すことや、移動児童館での触れ合いを積極的に行っていきたい。また、地域の母親の特技を活かせる場づくりと地域の方々と連携を図った企画をしていく。保育園入園や子どもの発達、

家庭環境などについての保護者の悩みについて情報収集し、保護者と子どもの拠り所となる児童館を目指したい。

2. 小学生事業

(1) 総括

平日の小学生の来館は、距離や交通事情などで増加は難しい。土曜日に習い事をしている子どもは多いが、定期的に遊びに来る子どもがいる。生活リズムの中で、児童館が定着した存在になっていると考えられる。長期休みでは、父母や祖父母の送迎による利用があった。茨曾根小学校の放課後児童クラブ『茨っ子クラブ』の小学生は、長期休みや代休の来館が多い。

毎月の定例行事に加え、季節に応じた行事（ハロウィン、クリスマス会など）では子どもたちが意欲的にボランティアとしての役割を果たし、力を発揮できる場となった。また、意見箱を設置し、小学生の意見や希望などから、提供できる遊びや企画を検討・実施した。

今年度は、『手づくりクラブ』や『音楽クラブ』などのクラブ活動を活発に行った。それにより、小学生の定着した来館に繋がった。『手づくりクラブ』では茨曾根地域生活センターにて手芸や調理などを行い、コミュニティ協議会との連携を図った。『音楽クラブ』では『茨っ子クラブ』や地域の小学生がメンバーとなり、茨曾根の『なつまつり』や『敬老会』に参加し、音楽発表を行った。地域の方々に日頃の練習の成果を披露できた。

(2) 課題

遊戯室は、高学年にとっては身体を十分に動かすことができない限られたスペースであり、近隣にある公園で遊んでいることが多い。身体を動かすことだけでなく、考える内容やゲーム性のある高学年向けの行事を企画し、高学年も児童館で楽しめる遊びを提供していく。

また、今後も地域の方と連携し、クラブ活動やその他の行事を企画し、一緒に作り上げ、盛り上げていきたい。

3. 中高生事業

(1) 総括

中学生女子 2 名は、昨年同様に行事の準備を手伝ってくれたり、気楽に職員との会

話を楽しんだりしていた。また、修学旅行や入試前後に来館し、その報告をしてくれた。

小学 6 年生が中学生になる前の春休みに来館し、友人と遊ぶ姿がみられた。小学生の時から来館した子どもの来館が定着し、中高生の来館の増加が期待できる。また『放課後等デイサービス ぶあぷ』への移動児童館により、中高生の来館が増加した。

『あきまつり』や『移動児童館』では、白根高校の男子 3 名がボランティアとして生き生きと参加する姿が見られた。ボランティアや移動児童館をきっかけに、居場所として活用してほしい。今後も継続していく。

(2) 課題

今後、白南中学校での移動児童館のために働きかけを行っていく。また、白根高校のボランティアの場として利用してもらうことを継続していく。幼児・小学生に加えて、中高生の来館に繋がるよう企画・実施していきたい。

4. 移動児童館

(1) 総括

昨年に引き続き移動児童館に力を入れ、年 1 1 1 回開催した。新たに、『放課後等デイサービス』と『ひまわりクラブ』での長期休みでの実施があった。また、近隣の小学校にて昼休みや放課後の時間での実施、保育園や支援センターでの継続した実施などがあった。多い月では 12 回の開催があり、地域からの要請、ニーズに応じている。移動児童館の定着が児童館の認知、来館に繋がっている。

小学校の文化祭ではカプラや作品展示などで参加することができた。小学生を中心としたクラブ活動において、夏まつりや敬老会などの行事に参加することで地域との連携が図れている。継続していきたい。

(2) 課題

これまでの内容を見直し、改善、継続しながら、今後は白南中学校や白根高校とも連携を取り、中高生向けの内容を充実させていきたい。ボランティアや講師の方々の協力に加えて、職員の技術向上に努め、体制を作っていく。来年度は、地域に根差した活動とネットワーク作り、職員のより良いチームワーク作りの取り組みをしていきたいと考えている。